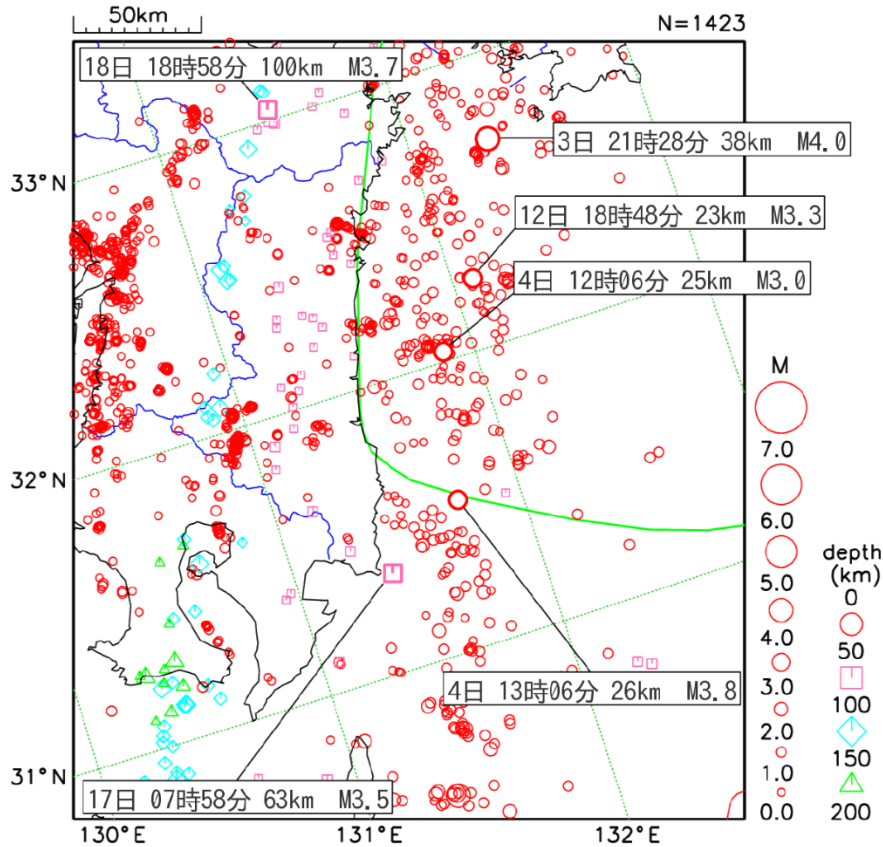


宮崎県の地震活動概況（2025 年 7 月）

令和 7 年 8 月 15 日
宮崎地方気象台

【地震活動の概要】

7 月に宮崎県内の震度観測点で震度 1 以上を観測した地震は 7 回（6 月は 4 回）でした。



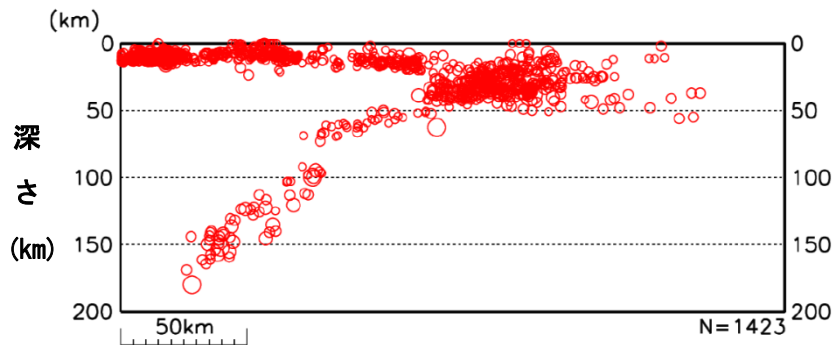
震央分布図（2025 年 7 月 1 日～31 日、M0.0 以上、深さ 200 km 以浅）

地震の規模（マグニチュードM）は記号の大きさと、震源の深さを記号と色で示しています。

緑色の線は南海トラフ巨大地震の想定震源域を示しています。

宮崎県で震度 1 以上を観測した地震に吹き出しをつけています。

25 日に発生した長崎県南西部、30 日に発生したロシア、カムチャツカ半島東方沖の地震は範囲外です。



断面図（震央分布図の投影、深さ 200 km 以浅）

国立研究開発法人防災科学技術研究所、北海道大学、弘前大学、東北大学、東京大学、名古屋大学、京都大学、高知大学、九州大学、鹿児島大学、国立研究開発法人産業技術総合研究所、国土地理院、国立研究開発法人海洋研究開発機構、公益財団法人地震予知総合研究振興会、青森県、東京都、静岡県、神奈川県温泉地学研究所及び気象庁のデータを用いて作成しています。また、2016 年熊本地震合同観測グループのオンライン臨時観測点（河原、熊野座）、2022 年能登半島における合同地震観測グループによるオンライン臨時観測点（よしが浦温泉、飯田小学校）、EarthScope Consortium の観測点（台北、玉峰、寧安橋、玉里、台東）のデータを用いて作成しています。

3日 日向灘を震源とする地震

3日 21時28分に発生した M4.0 の地震（深さ 38km）により、大分県佐伯市、高知県宿毛市、愛媛県愛南町で震度2を観測したほか、宮崎県、大分県、高知県、愛媛県で震度1を観測しました。県内では、延岡市、高千穂町で震度1を観測しました（図1）。

今回の地震の震源付近（図3領域b）は、日頃から地震活動がみられる領域で、最近では、2023年7月22日に M5.0 の地震（深さ 37km、最大震度4）が発生し、県内では、延岡市、門川町、高千穂町、美郷町で震度2を観測しました。

なお、2022年1月22日に M6.6 の地震（深さ 45km、最大震度5強）が発生し、県内では、延岡市、高千穂町で震度5強を観測しました（図2～4）。この地震により、県内では軽傷4人、住家一部破損3棟などの被害が生じました（2023年3月24日現在、総務省消防庁による）。

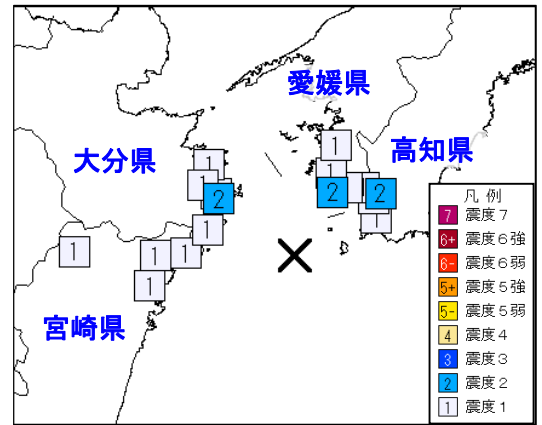


図1 震度分布図（観測点別、×：震央）

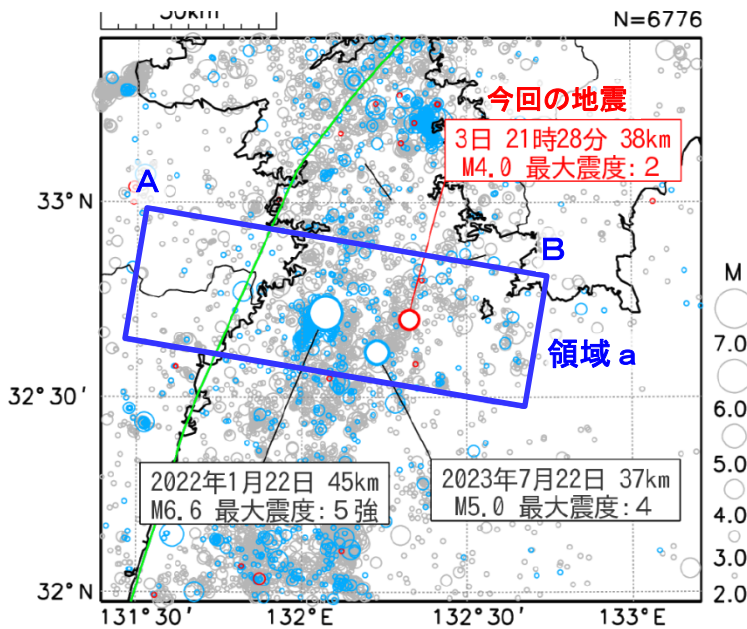


図2 震央分布図

（1997年10月1日～2025年7月31日、深さ0～100km、 $M \geq 2.0$ ）

※2022年1月22日以降の地震を薄青色で、

※2025年7月の地震を赤色で表示

緑色の線は南海トラフ巨大地震の想定震源域を示しています。

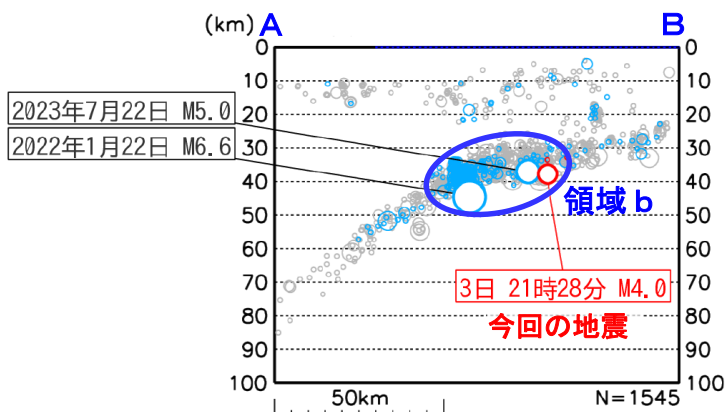


図3 図2領域a内の断面図（A－B投影）

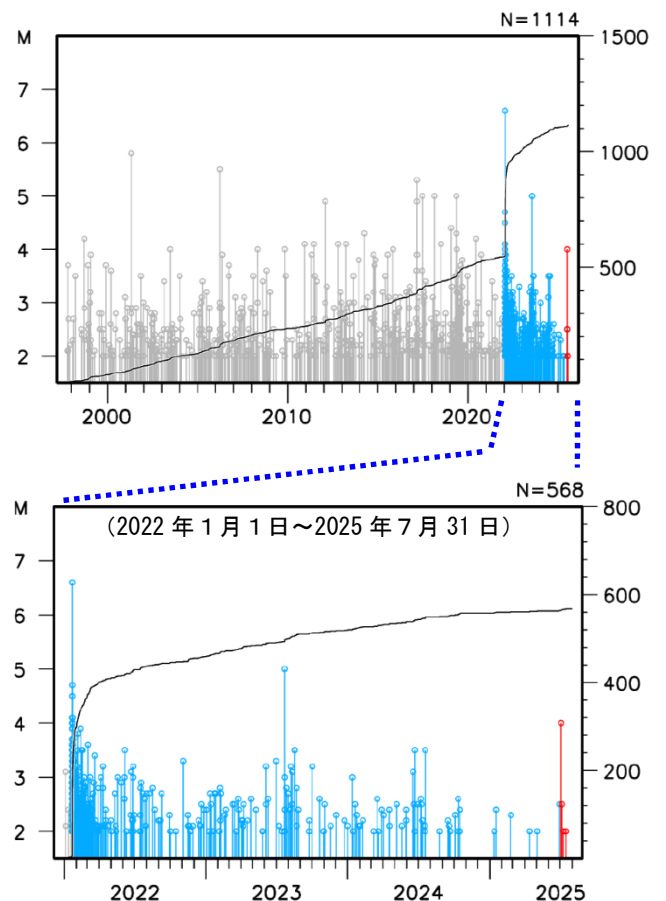


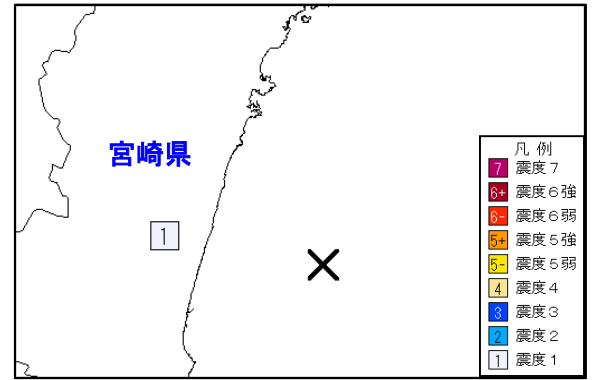
図4 図3領域b内の地震活動経過図および回数積算図

4日、12日 日向灘を震源とする地震

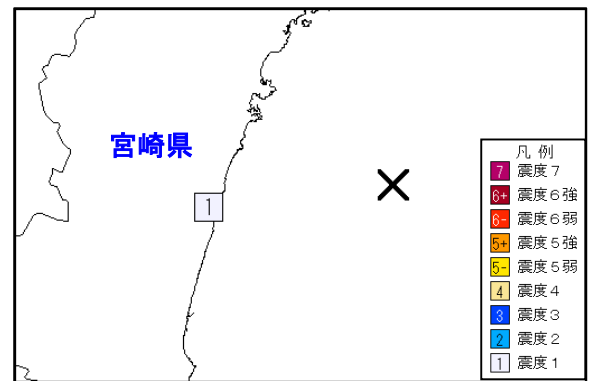
4日12時06分に発生したM3.0の地震(深さ25km)により、宮崎県西都市で震度1を観測しました。また、12日18時48分に発生したM3.3の地震(深さ23km)により、宮崎県川南町で震度1を観測しました(図5)。

今回の地震の震源付近(図7領域b)は、日頃から地震活動がみられる領域で、最近では、2025年6月18日にM4.7の地震(深さ25km、最大震度2)が発生し、宮崎県の延岡市、日向市、西都市、宮崎市などで震度2を観測しました。

なお、2014年8月29日にM6.0の地震(深さ18km、最大震度4)が発生し、県内では、宮崎市、美郷町、川南町、高鍋町で震度4を観測しました(図6～8)。



4日12時06分 M3.0



12日18時48分 M3.3

図5 震度分布図(観測点別、×:震央)

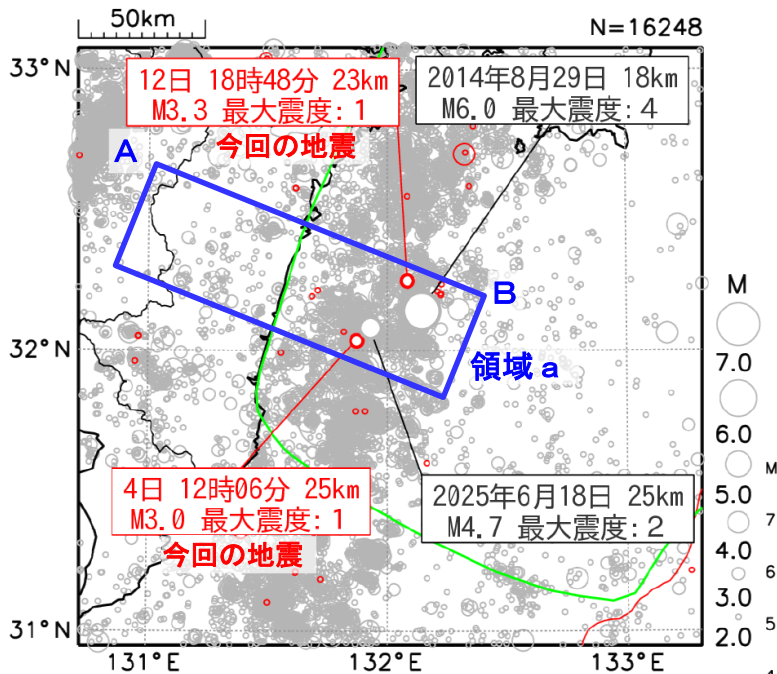


図6 震央分布図

(1997年10月1日～2025年7月31日、
深さ0～100km、 $M \geq 2.0$)

※2025年7月の地震を赤色で表示

緑色の線は南海トラフ巨大地震の想定震源域を示しています。

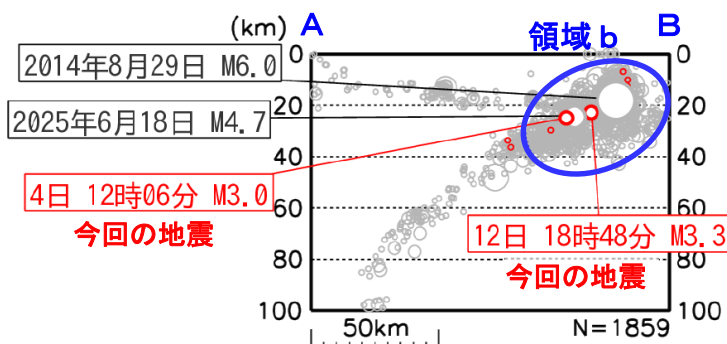


図7 図6領域a内の断面図(A-B投影)

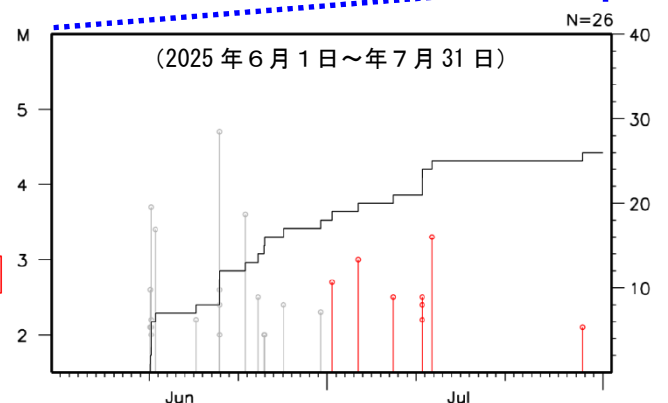
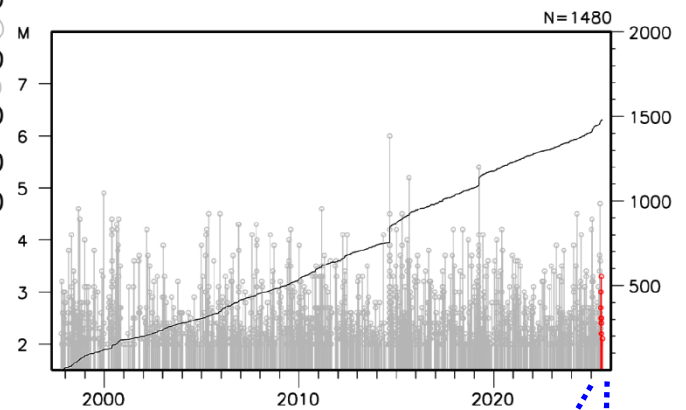


図8 図7領域b内の地震活動経過図
および回数積算図

4日 日向灘を震源とする地震

4日 13 時 06 分に発生した M3.8 の地震（深さ 26km）により、宮崎県の宮崎市、日南市、串間市で震度 1 を観測しました（図 9）。

今回の地震の震源付近（図 11 領域 b）は、日頃から地震活動がみられる領域で、最近では、2025 年 1 月 7 日に M3.4 の地震（深さ 23km、最大震度 1）が発生し、県内では、宮崎市、日南市で震度 1 を観測しました。

また、2024 年 8 月 8 日に M7.1 の地震（深さ 31km、最大震度 6 弱）が発生し、県内では、日南市で震度 6 弱を観測しました（図 10～12）。この地震により、県内では重傷 2 人、軽傷 6 人、住家半壊 4 棟などの被害が生じました（2025 年 3 月 24 日現在、総務省消防庁による）。

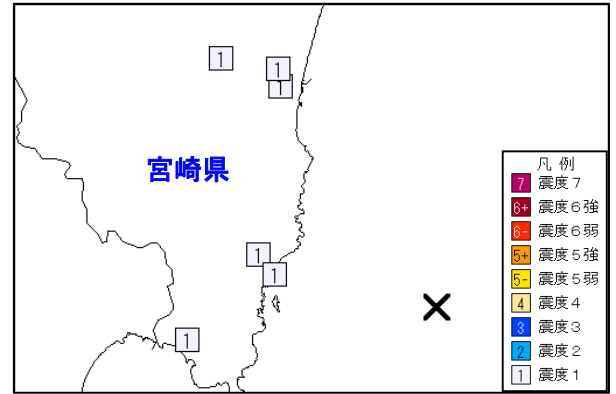


図 9 震度分布図（観測点別、×：震央）

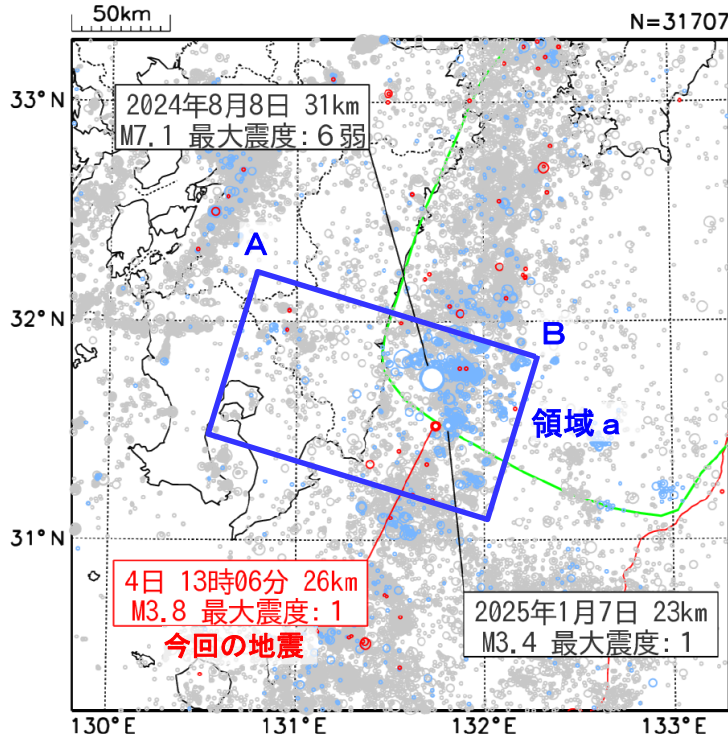


図 10 震央分布図

（1997 年 10 月 1 日～2025 年 7 月 31 日、
深さ 0～100km、 $M \geq 2.0$ ）

※2024 年 8 月 8 日以降の地震を薄青色で表示

※2025 年 7 月の地震を赤色で表示

緑色の線は南海トラフ巨大地震の想定震源域を示しています。

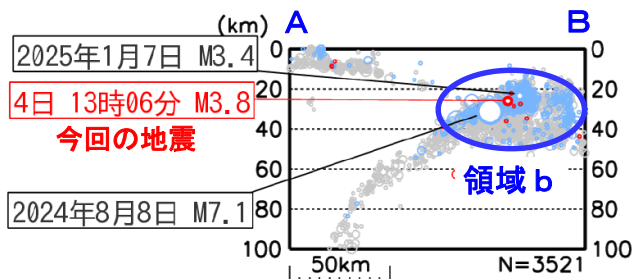


図 11 図 10 領域 a 内の断面図（A－B 投影）

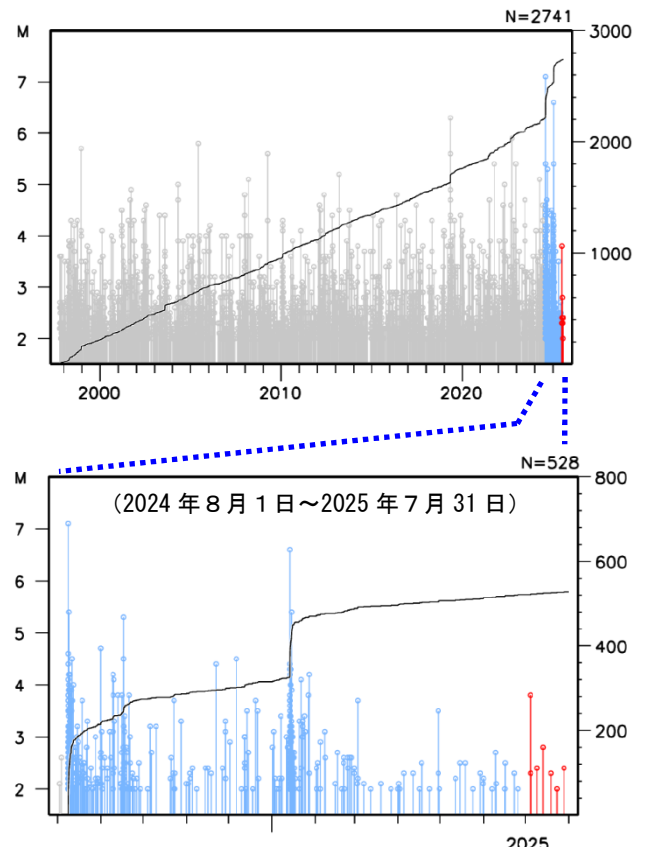


図 12 図 11 領域 b 内の地震活動経過図
および回数積算図

17 日 大隅半島東方沖を震源とする地震

17 日 07 時 58 分に発生した M3.5 の地震（深さ 63km）により、宮崎県都城市、鹿児島県の鹿屋市、曾於市、志布志市、大崎町で震度 1 を観測しました（図 13）。

今回の地震の震源付近（図 15 領域 b）では、1997 年以降、地震活動はみられておらず、宮崎県内で震度 1 以上を観測したのは、地方公共団体（宮崎県）の震度データの活用を開始した 1998 年 10 月 15 日以来初めてです（図 14～16）。

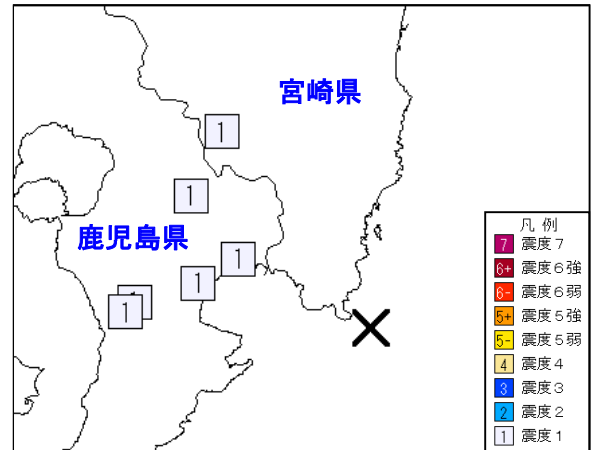


図 13 震度分布図（観測点別、×：震央）

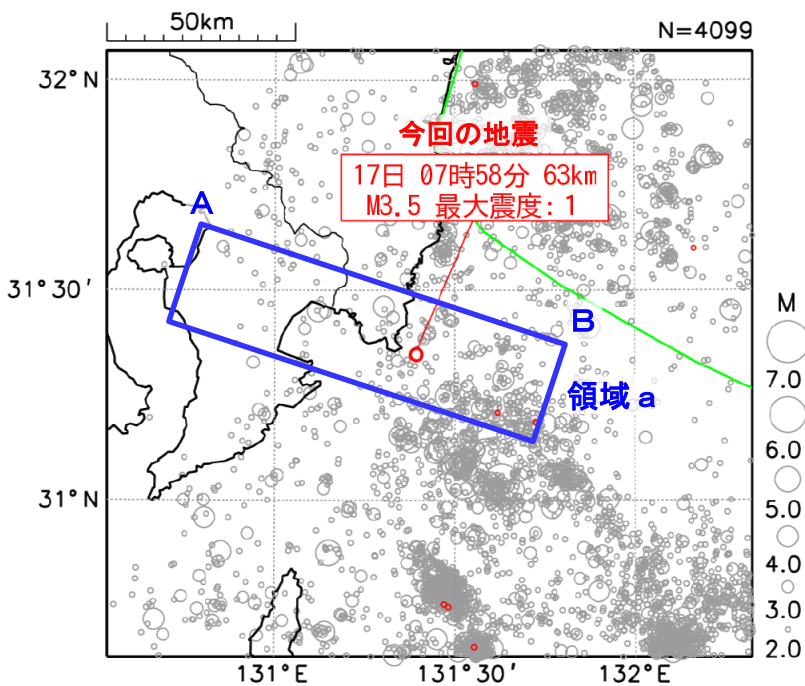


図 14 震央分布図

（1997 年 10 月 1 日～2025 年 7 月 31 日、
深さ 30～100km、 $M \geq 2.0$ ）

※2025 年 7 月の地震を赤色で表示

緑色の線は南海トラフ巨大地震の想定震源域を示しています。

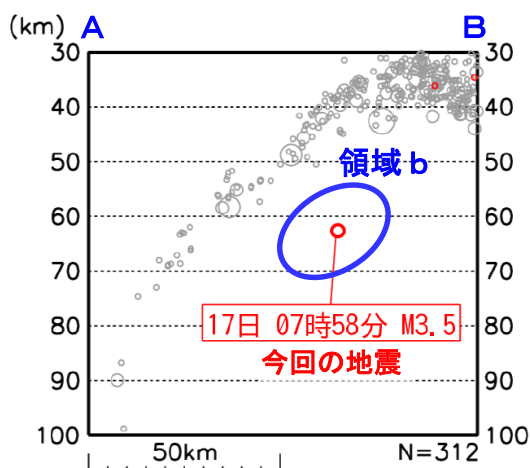


図 15 図 14 領域 a 内の断面図（A－B 投影）

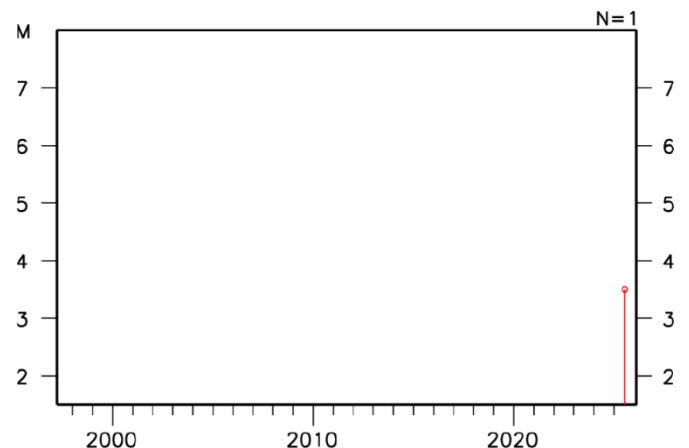


図 16 図 15 領域 b 内の地震活動経過図

18日 大分県南部を震源とする地震 (情報発表に用いた震央地名は「大分県中部」)

18日18時58分に発生したM3.7の地震(深さ100km)により、大分県臼杵市で震度2を観測したほか、宮崎県、大分県、熊本県、福岡県、高知県、愛媛県で震度1を観測しました。県内では、延岡市、西都市、都農町、門川町、高千穂町、美郷町で震度1を観測しました(図17)。

今回の地震の震源付近(図19領域b)は、日頃から地震活動がみられる領域で、最近では、2024年5月9日にM4.0の地震(深さ96km、最大震度2)が発生し、県内では延岡市で震度2を観測しました。

なお、2006年6月12日にM6.2の地震(深さ145km、最大震度5弱)が発生し、県内では、宮崎市、延岡市、西都市、日南市、小林市、高鍋町、都農町、高千穂町で震度4を観測しました(図18~20)。

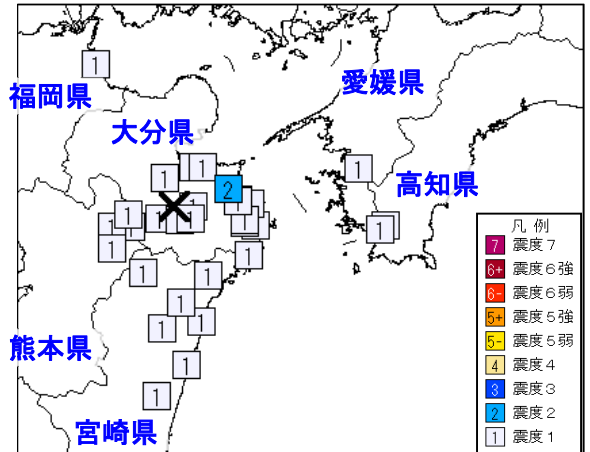


図17 震度分布図(観測点別、×:震央)

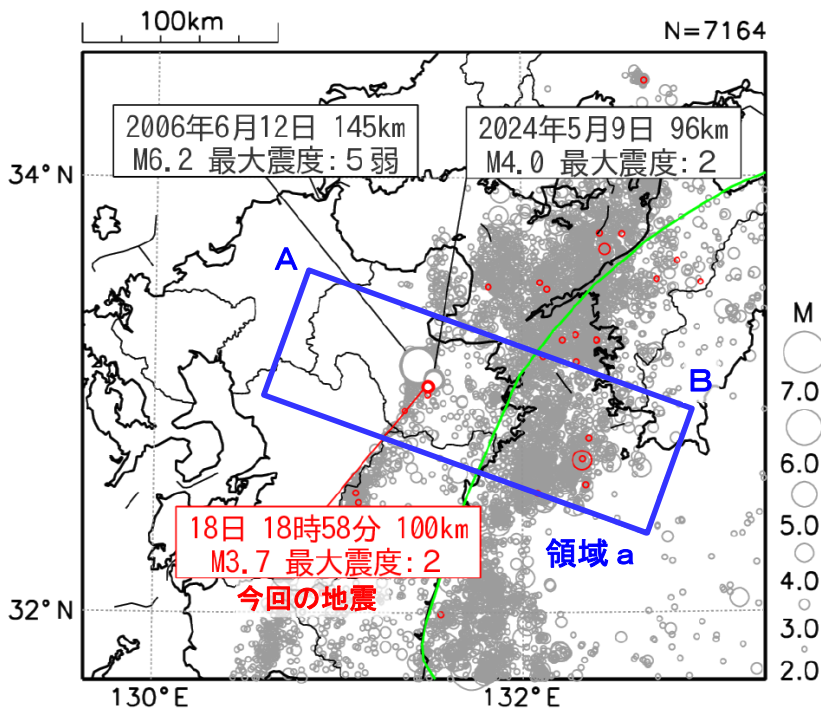


図18 震央分布図

(1997年10月1日~2025年7月31日、
深さ30~200km、 $M \geq 2.0$)

※2025年7月の地震を赤色で表示

緑色の線は南海トラフ巨大地震の想定震源域を示しています。

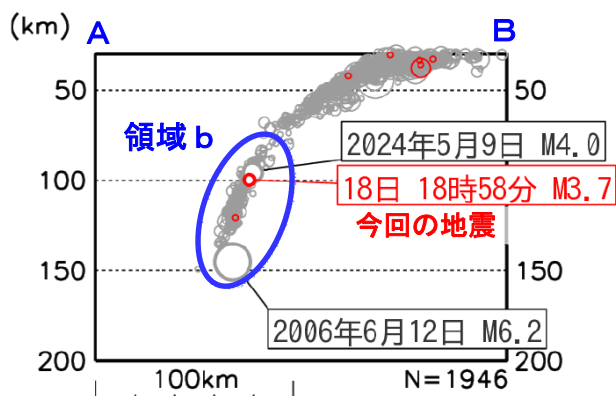


図19 図18領域a内の断面図(A-B投影)

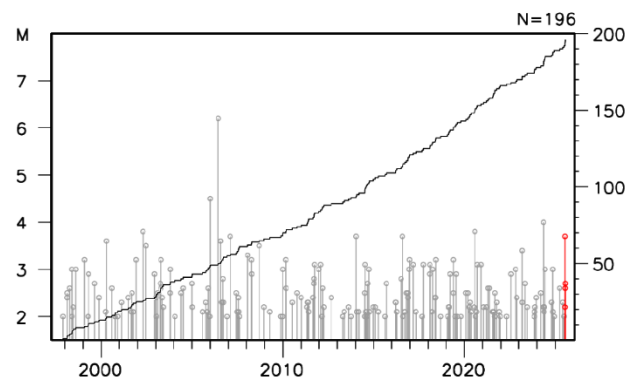


図20 図19領域b内の地震活動経過図
および回数積算図

25 日 長崎県南西部を震源とする地震（一頁震央分布図範囲外）

25 日 11 時 17 分に発生した M4.8 の地震（深さ 9 km）により、長崎県の諫早市、雲仙市で震度 4 を観測したほか、九州地方と山口県で震度 3～1 を観測しました。県内では、延岡市、小林市、高千穂町、椎葉村で震度 1 を観測しました（図 21）。

今回の地震の震央付近（図 22 領域 a）では、2017 年 4 月 19 日に M4.2 の地震（深さ 16 km、最大震度 3）が発生し、県内では椎葉村で震度 1 を観測しました（図 22～23）。

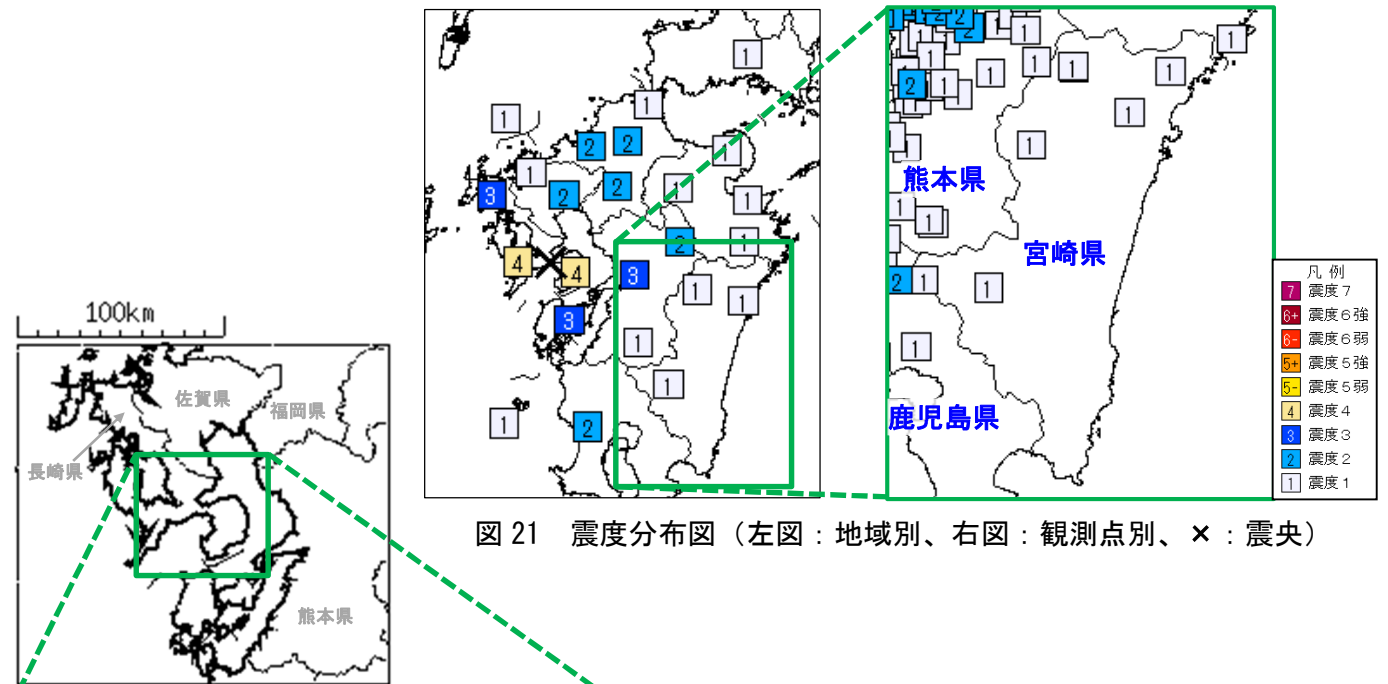


図 21 震度分布図（左図：地域別、右図：観測点別、×：震央）

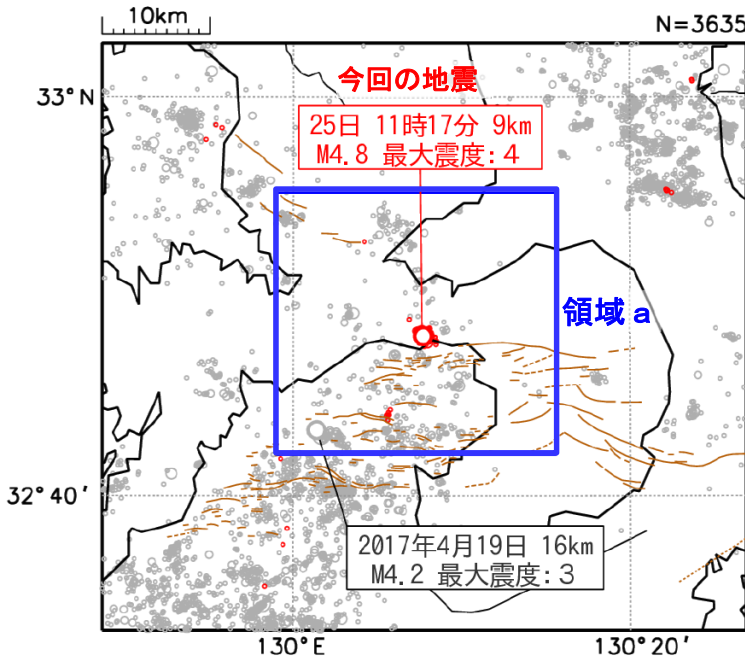


図 22 震央分布図

(2000 年 10 月 1 日～2025 年 7 月 31 日、
深さ 0～30km、 $M \geq 1.0$)

※2025 年 7 月の地震を赤色で表示

図中の茶色線は地震調査研究推進本部の長期評価による
活断層を示しています。

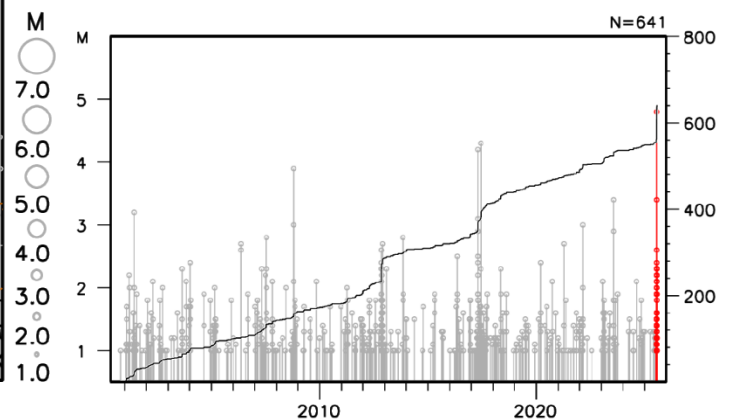


図 23 図 22 領域 a 内の地震活動経過図
および回数積算図

30 日 ロシア、カムチャツカ半島東方沖の地震活動（一頁震央分布図範囲外） （情報発表に用いた震央地名は「カムチャツカ半島付近」）

7 月 30 日 08 時 24 分（日本時間）にロシア、カムチャツカ半島東方沖で Mw8.8 の地震（深さ 35km）^{（注1）} が発生しました。

気象庁はこの地震に対して、同日 08 時 37 分に北海道から近畿地方の太平洋沿岸、宮崎県及び小笠原諸島に津波注意報を発表（発表時は M8.0、太平洋津波警報センター（PTWC）による）し、同日 09 時 40 分に北海道から近畿地方の太平洋沿岸、伊豆諸島及び小笠原諸島を津波警報に切り替えました（発表時は M8.7、太平洋津波警報センター（PTWC）による）。その後、同日 18 時 30 分に一部津波注意報に切り替え、同日 20 時 45 分に津波注意報に切り替えて、31 日 10 時 45 分に津波注意報を一部解除し、31 日 16 時 30 分に全て解除しました。宮崎県には 30 日 08 時 37 分に津波注意報を発表しました（31 日 10 時 45 分に解除）（図 24）。

この地震により、岩手県の港）久慈港で 1.4m、宮城県の港）仙台港で 0.9m の津波を観測するなど、太平洋沿岸を中心に北海道から沖縄県にかけて広い範囲で津波を観測しました。県内では、港）宮崎港で 0.5m、気）日南市油津で 0.4m、県）日向市細島で 0.2m の津波を観測^{（注2）} しました（表 1、図 25）。また、海外においても、ハワイのマウイ島で 1.74m の津波を観測^{（注3）} しました（表 2、図 26）。

この地震により、県内では軽傷 1 人の被害が生じました（2025 年 8 月 1 日現在、総務省消防庁による）。

（注 1）震源要素は、米国地質調査所（USGS）による（2025 年 8 月 6 日現在）。ただし Mw は気象庁による。

（注 2）津波の観測値はいずれも速報値で、今後の精査により変更となることがある。

港）は国土交通省港湾局、県）は地方公共団体、気）は気象庁の津波観測施設を示す。

（注 3）海外の津波の高さは米国海洋大気庁（NOAA）による（2025 年 8 月 7 日現在）。

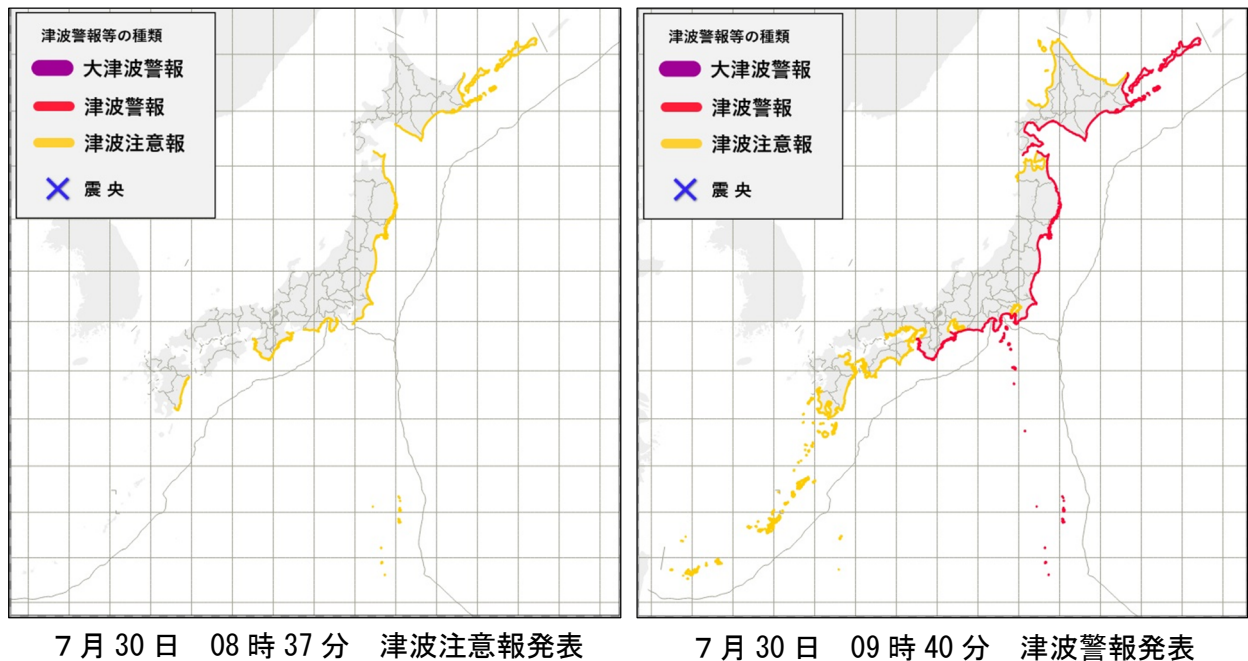


図 24 ロシア、カムチャツカ半島東方沖の地震に対して発表した津波警報等

表１ ロシア、カムチャツカ半島東方沖の地震による津波観測値（速報値）

津波予報区	津波観測点名称	第一波			最大波		
		時 刻			時 刻		
		日	時	分	日	時	高さ m
北海道太平洋沿岸東部	釧路	30	10	30	30	19	0.5
北海道太平洋沿岸東部	根室市花咲	30	10	17	30	14	0.8
北海道太平洋沿岸東部	港）浜中町霧多布港	30	10	21	30	13	0.6
北海道太平洋沿岸中部	港）浦河	30	10	50	30	19	0.2
北海道太平洋沿岸中部	港）十勝港	30	10	32	31	01	0.7
北海道太平洋沿岸中部	えりも町庶野（＊1）	30	10	28	30	21	0.6
北海道太平洋沿岸西部	函館	30	11	17	30	19	0.5
北海道太平洋沿岸西部	港）苫小牧西港	識別不能			30	19	0.4
北海道太平洋沿岸西部	港）苫小牧東港	30	11	10	30	19	0.5
北海道太平洋沿岸西部	港）白老港	30	11	05	30	22	0.3
北海道太平洋沿岸西部	港）室蘭港	30	11	20	31	03	0.2
北海道日本海沿岸北部	稚内	識別不能			31	02	0.4
北海道日本海沿岸北部	港）留萌	識別不能			30	17	0.2
北海道日本海沿岸南部	小樽	識別不能			31	05	0.2
北海道日本海沿岸南部	港）石狩湾新港	識別不能			31	05	0.2
オホーツク海沿岸	網走	30	10	37	30	15	0.3
オホーツク海沿岸	港）枝幸港	30	11	13	30	21	0.4
オホーツク海沿岸	港）紋別港	30	11	01	31	03	0.4
青森県日本海沿岸	海）竜飛	30	11	19	30	14	0.1
青森県太平洋沿岸	むつ市関根浜	30	10	57	31	00	0.4
青森県太平洋沿岸	港）むつ小川原港	30	10	45	30	18	0.4
青森県太平洋沿岸	港）八戸港	30	10	52	30	19	0.8
陸奥湾	港）青森	30	11	01	30	21	0.2
岩手県	宮古	30	10	41	30	15	0.5
岩手県	大船渡	30	10	48	30	18	0.4
岩手県	海）釜石	30	10	40	30	14	0.5
岩手県	港）久慈港	30	10	44	30	13	1.4
宮城県	石巻市鮎川	30	10	57	30	19	0.5
宮城県	港）仙台港	30	11	38	30	23	0.9
宮城県	港）石巻港	30	11	28	30	21	0.7
福島県	いわき市小名浜	30	11	09	31	00	0.5
福島県	国）相馬	30	11	33	30	21	0.7
茨城県	大洗（＊1）	30	11	15	31	02	0.7
茨城県	港）神栖市鹿島港	30	11	18	30	20	0.8
千葉県九十九里・外房	県）銚子	30	11	09	30	15	0.3
千葉県九十九里・外房	勝浦市興津（＊1）	30	11	09	30	23	0.4
千葉県内房	館山市布良	30	11	05	30	20	0.6
東京湾内湾	東京晴海	30	12	37	30	14	0.2
東京湾内湾	海）横須賀	30	11	40	30	14	0.2
東京湾内湾	海）千葉	30	12	32	30	13	0.2
東京湾内湾	海）横浜	30	12	03	30	13	0.3
伊豆諸島	伊豆大島岡田	30	11	17	30	18	0.1
伊豆諸島	三宅島坪田	30	11	09	30	15	0.5
伊豆諸島	八丈島八重根（＊1）	30	11	30	30	16	0.8
伊豆諸島	海）神津島神津島港	30	11	31	30	22	0.5
伊豆諸島	海）八丈島神湊	30	11	14	30	15	0.5
小笠原諸島	父島二見	30	11	57	30	15	0.4
相模湾・三浦半島	小田原	30	11	24	30	11	0.1
相模湾・三浦半島	三浦市三崎漁港（＊1）	30	11	22	30	15	0.2
相模湾・三浦半島	国）三浦市油壺	30	11	22	30	22	0.2
静岡県	沼津市内浦	30	11	52	30	21	0.4
静岡県	御前崎	30	11	51	30	21	0.4
静岡県	南伊豆町手石港	30	11	35	30	21	0.4
静岡県	港）下田港	30	11	22	31	00	0.6
静岡県	国）伊東	30	11	21	30	11	0.2

津波予報区	津波観測点名称	第一波			最大波		
		時 刻			時 刻		
		日	時	分	日	時	高さ m
静岡県	国）焼津	30	11	45	30	17	0.3
愛知県外海	田原市赤羽根	30	12	11	30	22	0.5
伊勢・三河湾	名古屋	30	13	29	30	15	0.2
伊勢・三河湾	県）半田市衣浦	30	13	14	30	20	0.2
伊勢・三河湾	県）四日市	30	13	20	30	20	0.1
伊勢・三河湾	港）豊橋市三河港	30	13	18	30	15	0.2
三重県南部	鳥羽	30	12	23	30	23	0.4
三重県南部	尾鷲	30	12	08	30	17	0.4
三重県南部	熊野市遊木	30	12	06	31	01	0.2
大阪府	大阪天保山	識別不能			30	18	0.3
和歌山県	那智勝浦町浦神	30	12	14	30	22	0.3
和歌山県	串本町袋港	30	12	17	30	20	0.5
和歌山県	和歌山	30	13	07	30	18	0.3
和歌山県	御坊市祓井戸	30	12	31	30	18	0.4
和歌山県	白浜町堅田	30	12	30	30	16	0.3
徳島県	小松島	30	13	03	31	01	0.2
徳島県	徳島由岐	30	12	30	31	03	0.4
愛媛県宇和海沿岸	宇和島	30	13	31	30	19	0.1
高知県	室戸市室戸岬	30	12	25	30	22	0.5
高知県	高知	30	12	49	30	19	0.2
高知県	土佐清水	30	12	45	31	04	0.6
高知県	国）中土佐町久礼港	30	12	53	30	17	0.4
大分県瀬戸内海沿岸	海）大分	30	13	59	30	18	0.1
大分県瀬戸内海沿岸	港）別府港	30	14	01	30	16	0.1
大分県豊後水道沿岸	佐伯市松浦	30	13	05	30	21	0.2
宮崎県	県）日向市細島	30	12	40	31	00	0.2
宮崎県	日南市油津	30	12	56	30	20	0.4
宮崎県	港）宮崎港	30	13	04	31	05	0.5
鹿児島県東部	海）南大隅町大泊	30	13	15	30	17	0.4
鹿児島県東部	港）志布志港	30	13	11	31	06	0.5
種子島・屋久島地方	海）種子島西之表	30	13	13	30	17	0.3
種子島・屋久島地方	種子島熊野	30	12	58	30	17	0.5
奄美群島・トカラ列島	海）中之島	識別不能			30	18	0.4
奄美群島・トカラ列島	奄美市小湊	30	13	19	30	16	0.6
奄美群島・トカラ列島	海）奄美市名瀬	30	13	23	30	16	0.4
鹿児島県西部	枕崎	30	13	52	30	18	0.5
沖縄本島地方	那覇	30	13	57	31	06	0.1
沖縄本島地方	内）沖縄市中城湾港	30	13	33	30	22	0.1
宮古島・八重山地方	石垣島石垣港	識別不能			30	22	0.1
宮古島・八重山地方	内）宮古島平良	30	14	27	31	01	0.2

※観測値は今後の精査により変更となることがある。

※所属機関の観測波形データをもとに気象庁が検測した値。

（＊１）は巨大津波計により観測されたことを示す（観測単位は0.1m）

港）は国土交通省港湾局、海）は海上保安庁、国）は国土地理院、県）は地方公共団体、内）は内閣府、記載のないものは気象庁

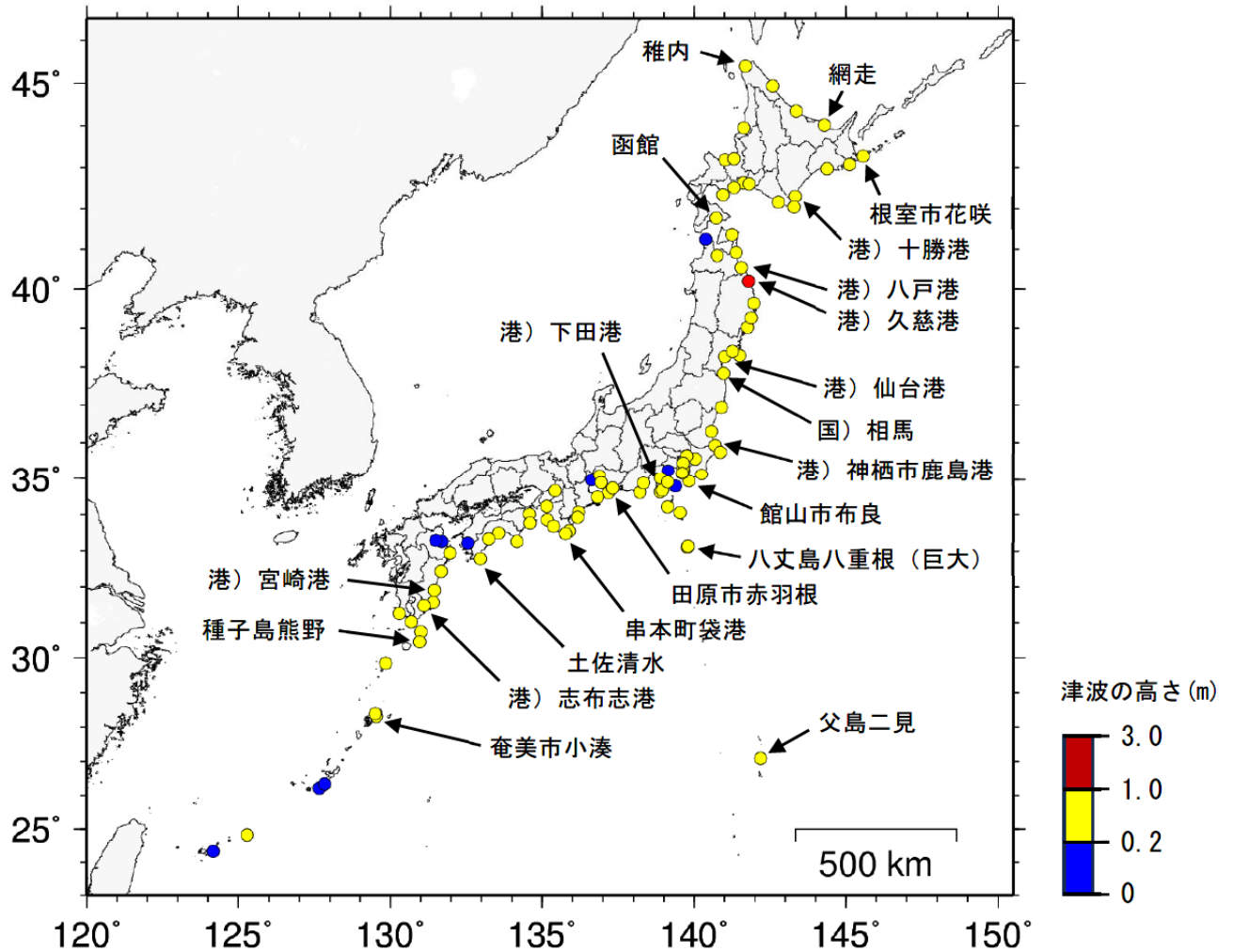


図 25 日本国内で津波を観測した地点

表 2 海外の主な津波観測施設の津波観測値

検潮所	国	最大の高さ (m)
カフルイ (ハワイ、マウイ島)	アメリカ	1.74
セミヤチク (カムチャツカ地方)	ロシア	1.6
ヒロ (ハワイ島)	アメリカ	1.5
ハレイワ (ハワイ、オアフ島)	アメリカ	1.21
クレセントシティ (カリフォルニア州)	アメリカ	1.19
ハナレイ (ハワイ、カウアイ島)	アメリカ	1.17
コリウモ	チリ	1.12
キンテロ	チリ	1.09
バルトラ島	エクアドル	1.04
コロネル	チリ	1.03

※観測値は米国海洋大気庁 (NOAA) による (2025 年 8 月 7 日現在)。

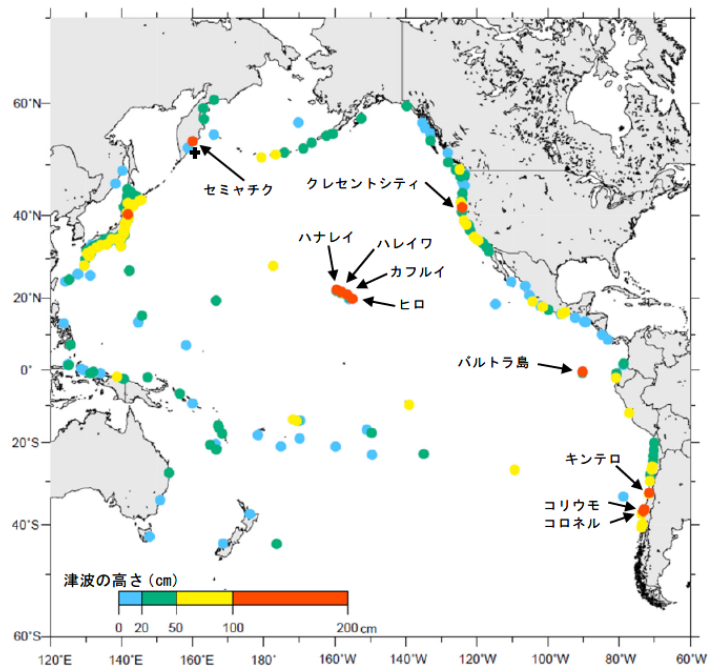


図 26 海外の津波観測施設で観測した津波の最大の高さ (最大の高さ 100 cm 以上を観測した地点については観測点名を表記、+印は震央を表す)

※海外の津波観測施設の観測値は米国海洋大気庁 (NOAA) による (2025 年 8 月 7 日現在)。

宮崎県内で震度 1 以上を観測した地震の表（7 月 1 日～31 日）

震源時（年月日時分） 各地の震度	震央地名	緯度	経度	深さ	マグニチュード
2025 年 07 月 03 日 21 時 28 分 日向灘 震度 1：延岡市天神小路, 延岡市北川町川内名白石*, 延岡市北浦町古江*, 高千穂町三田井		32° 42.0' N	132° 19.5' E	38km	M4.0
2025 年 07 月 04 日 12 時 06 分 日向灘 震度 1：西都市上の宮*		32° 02.1' N	131° 52.4' E	25km	M3.0
2025 年 07 月 04 日 13 時 06 分 日向灘 震度 1：宮崎市霧島, 宮崎市松橋*, 宮崎市高岡町内山*, 日南市油津, 日南市吾田東*, 串間市役所*		31° 31.3' N	131° 44.5' E	26km	M3.8
2025 年 07 月 12 日 18 時 48 分 日向灘 震度 1：川南町川南*		32° 14.9' N	132° 05.1' E	23km	M3.3
2025 年 07 月 17 日 07 時 58 分 大隅半島東方沖 震度 1：都城市姫城町*		31° 20.8' N	131° 23.6' E	63km	M3.5
2025 年 07 月 18 日 18 時 58 分 大分県南部 震度 1：延岡市北川町川内名白石*, 延岡市北方町総合支所*, 西都市上の宮*, 宮崎都農町役場*, 門川町平城東*, 高千穂町三田井, 宮崎美郷町田代*		33° 02.3' N	131° 29.4' E	100km	M3.7
2025 年 07 月 25 日 11 時 17 分 長崎県南西部 震度 1：延岡市北川町川内名白石*, 延岡市北方町総合支所*, 椎葉村総合運動公園*, 高千穂町三田井, 高千穂町寺迫*, 小林市真方		32° 48.0' N	130° 07.7' E	9km	M4.8

使用した震源要素等は暫定値であり、後日修正することがあります。

* は地方公共団体または、国立研究開発法人防災科学技術研究所の観測点です。

「防災の日」と「防災週間」

～いつかくる災害に備えて～

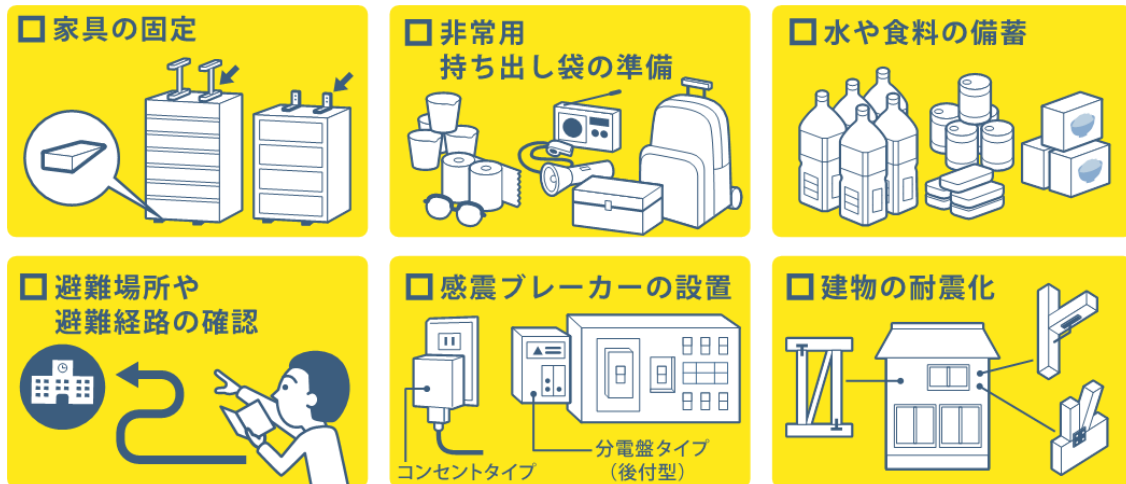
9月1日は「防災の日」、8月30日～9月5日は「防災週間」です。

本期間は、国や防災関係機関をはじめ広く国民が、地震や津波等の災害についての認識を深め、これに対する備えを充実強化し、災害の未然防止と被害の軽減に資する目的で設けられています。

この機会に、身近で起こり得る災害を再確認するとともに、日頃からの備えや大きな地震が起こった時のとるべき行動を確認するようにしましょう。

○日頃からの備え

地震への日頃からの備えには、「家具の固定や配置の見直し」「水や食料等の備蓄」「避難場所や避難経路の確認」「建物の耐震診断や耐震化」などがあります。
自らの命、大切な人の命を守るために、今から準備しておきましょう。



○とるべき行動

地震による強い揺れを感じた時や緊急地震速報を見聞きした場合は、あわてずに身の安全を図りましょう。具体的な行動は周囲の状況によって異なります。日頃からいざという時の行動を考えておきましょう。

地震の揺れを感じたら …

緊急地震速報を見聞きしたら …

あわてず、まず身の安全を!!

家庭では

- ◇ 安全スペースに避難
- ◇ 頭部を保護し、丈夫な机の下など安全な場所に避難
- ◇ あわてて外へとびださない
- ◇ 無理に火を消そうとしない

屋外(街)では

- ◇ ブロック塀などの倒壊に注意
- ◇ 看板や割れたガラスの落下に注意

エレベーターでは

- ◇ 最寄りの階に停止させ、すぐに降りる

鉄道・バスでは

- ◇ つり革・手すりにしっかりつかまる

その他の行動例や緊急地震速報については気象庁のホームページをご覧ください。

<https://www.jma.go.jp/jma/kishou/now/jishin/eeew/koudou/koudou.html>